

養護老人ホーム 母来寮

1 基本方針

利用者の尊厳を大切にし、安全で安心できる良質な福祉サービスの提供に努め、自立した生活を支援する。

また、地域に開かれた福祉施設として、地域の中で連携・交流に努め、地域の皆様に親しまれる施設を目指す。

2 利用者の状況（令和3年3月31日現在）

（1）入退所の状況

定員	前年度末 利用者数	令和2年度中の入退所状況						利 用 延人員	年間平均 稼働率	年 度 末 利用者数
		入所	退所	退所理由別						
				家庭 復帰	施設 移管	契約解除 (入院等)	死亡			
130人	125人	21人	24人	2人	4人	6人	12人	42,949人	90.52%	123人
元年度 130人	122人	23人	20人	0人	3人	4人	13人	42,007人	88.31%	125人

（2）利用者（特定施設入居者生活介護）の介護度別人員

性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	定員
男性	0人	0人	6人	4人	2人	3人	0人	15人	75人
女性	0人	0人	12人	16人	7人	8人	3人	46人	
計	0人	0人	18人	20人	9人	11人	3人	61人	

（平均介護度2.36）

3 事業の実施状況

（1）安全で安心できる良質な福祉サービスの提供

ア 利用者の意志や人格を尊重し、集団生活の中でも幅広い選択肢を提供できる環境を整え、常に利用者の方の立場に立って支援を行い、個別対応に取り組み、生活の質の向上に努めた。

イ 自立支援に視点をおいたプランの作成と、多様で複雑な個別ニーズに適切に対応するため、総務・事務、生活相談、介護・支援、医務・看護、栄養・調理の各部署の職員による多職種連携でサービスの提供を行った。

ウ 利用者それぞれに応じて、自立した日常生活を営むことができるよう、機能訓練の実施などにより機能の維持と向上を図り、介護予防に努めた。

エ 介護が必要とされる利用者には、適切な介護サービスを提供し、要介護状態が変更となる場合には、状況に応じて、より相応しい施設へ移ることができるために利用者及び家族の方に支援を行った。

（2）地域との連携及び交流の促進

ア 地区の運動会、町の敬老祝賀会等の地域行事に地域の一員として参加できる体制を整えていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため行事が中止となった。

イ 地域の清掃活動への参加を実施することで地域住民として地域貢献に努めた。地域と共同で開催するグランドゴルフ大会に利用者の方も参加できるよう支援していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催が中止となった。

ウ ボランティア体験実習や看護専門学校高齢者コミュニケーション実習等の実習を受入れ、福祉教育の一端を担った。

(3) 経営効率化への取組み

ア 各市町村及び関係機関等と連携を密にして、入所依頼から入所までをスムーズに進行することで欠員補充に努めた。また、長期入院による退院困難や施設移管等による退所も関係機関、家族等と話し合いを行い、調整等に努めた。

イ 重度化に伴う施設移管退所や長期入院による契約解除退所が前年に比べて多く、入所者の確保や介護重度化予防等に努めたが、養護老人ホームの入所稼働率は90.5%と目標(93%)を下回り、特定施設についても稼働率は77.0%と目標(89%)を達成できなかった。市町村事業である生活管理短期宿泊事業の利用について、利用要請が少なく4.3%と目標(10%)に達することができなかった。

(4) 人材の育成

ア 施設と職員本人が話し合い、個人目標を設定し、個人研修計画を作成した。またその計画を基に内部研修を開催することで必要な知識並びにスキルの習得に努めた。

イ ストレスチェックや虐待防止チェックシートの結果を分析し、メンタルヘルスや接遇、人権についての啓発を実施した。また、感染対策を講じながら外部講師を招きアンガーマネジメント研修やメンタルヘルス研修を開催し職員の意識啓発に努めた。

ウ 社会福祉士などの資格試験についての情報を職員へ提供するとともに、資格取得を促した。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	受入期間	実人員	延人員
鳥取県立倉吉総合看護専門学校	10月	9人	54人
計		9人	54人

(2) ボランティアの受入実績

湯梨浜町羽合赤十字奉仕団、倉吉北高インターアクトクラブ、各種クラブ活動指導
(延べ46人)

5 付帯事業

短期宿泊事業 定員 併設4名

年度	実人員	延人員
令和2年度	6人	63人
令和元年度	4人	43人